

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立きく通勤寮	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉南区春ヶ丘 1 0 番 1 1 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（宿泊型自立訓練）の管理運営		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント																			
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み																			
(1) 施設の設置目的の達成																			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																			
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																			
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。																			
<p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。 ・サービス利用期間における、利用者の特性に沿った自立へ向けた取り組みに努めており、9名の利用者が卒寮し、地域移行を実現している。 ・利用希望者への「お試し体験利用」の実施により、体験者15名のうち7名が入寮するなど新規利用者の確保に努めたものの、施設利用率は83.7%となり目標値（97%）を下回った。 ・広報紙を年に4回（133部/回）発行するなどの広報活動を実施している ・利用者の就労先を定期的に訪問して、企業等の担当者との情報の共有や支援内容の調整を行う等、利用者の就労が継続できるよう努めている。また、他の障害福祉サービス事業所やハローワーク、障害者しごとサポートセンターなどと連携し、利用者個々の支援内容の充実を図っている。 ・弁護士による「人権研修」及び消費生活センターによる「トラブル回避」についての利用者学習会なども実施し、利用者がより地域生活をイメージできる取り組みを実施している。 																			
<p>【施設利用率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>【参考】H22年度(更新前)</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>94</td> <td>97</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>92.2</td> <td>101.2</td> <td>94.5</td> <td>83.7</td> </tr> </tbody> </table>					年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度	目標値	—	94	97	97	実績	92.2	101.2	94.5	83.7
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度															
目標値	—	94	97	97															
実績	92.2	101.2	94.5	83.7															
(2) 利用者の満足度																			
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。																			
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。																			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。																			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。																			
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。																			

⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、約85%を超えており、利用者の満足度は高いものとなっている。
- ・当事者活動をグループ（環境、レクリエーション、健康、記録）に分けて行い、行事の企画や準備などを利用者が自主的に取り組むようにすることで、利用者の意見を反映させるとともに、役割を通して責任を理解できるような仕組みをつくっている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設置しており、利用者からの出された意見や苦情等に対して施設とともに適切な対応に努めている。
- ・利用者へのサービス内容や行事説明に視覚的な工夫を取り入れたり、帰省にあたっての情報交換を家族と行うなど、利用者個々の状態や家族等に配慮した情報提供等の取組みに努めている。

施設の総合評価

【満足度】

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	60	65	70
実績	66	79.2	85

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

- ・空調管理、照明の間引き等による節電により、経費の削減に取り組んでいる。また、委託業務における入札の実施や複数の見積りを徴収することによる経費の削減に努めている。

【指定管理料】

単位：千円

指定管理料	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	10,717	10,400	5,200	5,200
決算	10,717	10,400	5,200	5,200

【光熱水費】

単位：千円

うち光熱水費	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	—	2,640	2,640	3,682
決算	3,146	3,060	3,330	2,724

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み**(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況**

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

[所見]

- ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- ・職員の業務及び能力開発に関し、目標管理に基づいた育成を計画的に行っており、外部研修の活用等により、職員の資質・能力の向上を図っている。
- ・町内会に入会しており、施設行事に町内の方々を招待したほか、利用者が体育委員として校区行事に参加するなど、地域に根付いた運営が行われている。
- ・大学生のボランティアを受け入れ、毎年開催している餅つき大会に5名の学生が参加した。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

② 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。

② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。

③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。

④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。

⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・利用者の個人情報保護や事故防止等のマニュアル整備や人権、虐待防止について職員全員で支援内容を検証するなど、適切な運営に努めている。
- ・利用者の居住の場として、夜間も職員が常駐しており、防犯・不審者対策について、マニュアルの見直し等により安全対策に努めている。
- ・避難訓練を年3回実施（地震体験車を利用した防災訓練含む）、AED研修会など、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる

【総合評価】

〔所見〕

事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、利用者の満足度も高いものとなっている。

サービス利用期間が定められている中、利用者の就労支援や既就労者の継続支援に努めており、地域移行に向けた日常生活能力の向上や健康管理などの生活支援に取り組んでいる。

また、職員の資質・能力向上については、目標管理がなされ計画的に行われている。